

「体験の風をおこそうシンポジウム」を開催しました

12月12日(水)に、「体験の風をおこそうシンポジウム～子どもの社会的自立に家庭、学校、地域は何ができるか～」を、佐賀県、(独法)国立青少年教育振興機構及び佐賀県青少年育成県民会議様との共催で開催しました。

子どもにとって必要な体験活動とは何か。また、我々は今、何をすべきかということ、広く県民の皆さま方が一緒になって考え、行動に結び付けていこうということで、このシンポジウムを開催し、県内外から約150名の方々に参加いただきました。



まず、「子どもの命をつなぐ命題と地域のまなざし～子どもの育ちと地域の本気力～」という演題で茨城大学准教授の長谷川幸介さんによる基調講演が行われました。

次に、佐賀県まなび課の宮原さんから、県が小学校で実施した防災キャンプからの生活体験学習成果について報告が行われました。

その後、長谷川先生をコーディネーターに、学校、企業・産業界、地域それぞれの立場で体験活動を実践されている4名のシンポジストに登壇いただき、「必要な体験を必要な時に」をテーマにシンポジウムを行いました。



基調講演・コーディネーター
長谷川 幸介さん
(茨城大学准教授)

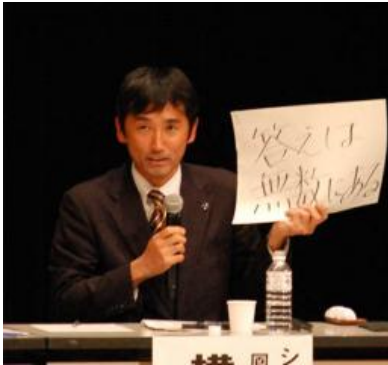
シンポジスト



百武 博文さん
(太良町立多良小学校教諭)



檜崎 タキコさん
(NPO法人市村自然塾九州塾母)



横尾 敏史さん
(NPO法人鳳雛塾事務局長)



中村 雄一郎さん
(鹿島市青少年育成市民会議会長)

本日のシンポジウムで、子どもたちの健やかな成長にとって「直接的な体験」がいかに重要であるかを、また、発達段階に応じた体験の提供には学校、家庭、地域が一体となって関わっていくことが重要であることを改めて認識することができました。

[<< 戻る](#)

[↑ このページの上へ](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

[アクセス・交通機関のご案内](#)

[お問い合わせ/ご意見・ご要望](#)

アバンセ
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんどの森内)
TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分
日曜・祝日:8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで